

森(モリ)・盛(モリ)・オホーツク



No. 9 平成27年11月16日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

「森へおいでよ！」パネル展 クラフト作成を楽しむ

10月3～11日、森林ボランティア「オホーツクの会」と共催で北見市緑のセンターで「森へおいでよ！」パネル展を行いました。

これは、平成24年から行われているもので、常呂川FCは、活動内容と合わせ、森林に咲く花や自動撮影での動物パネルを展示しました。

また、森林ボランティア「オホーツクの会」も活動報告、勧誘の呼びかけ等と合わせて、たけとんぼ作り、吉田事務局長の作成した自然素材を利用した本物そっくりのクラフトを展示しました。



10・11日には、森林を身近に感じてもらえるようマツボックリや木の枝・皮などの自然素材を利用したクラフト作り体験などを行い、見本を参考にしながら作る人、自分の発想でオリジナル

作品を作る人など、子どもからお年寄りまでまさに老若男女が時間の経過も忘れ、「今日は子どもを連れてきたので明日は旦那に預けてくるわ(笑)…」などの会話もありました。

なお、9日間で約430人の来場者（緑のセンター集計）がありました。



秋の鹿の子沢

【ガイドサポート】

10月4日（日）、森林ボランティア「オホーツクの会」主催の森林散策会が置戸町「鹿の子沢」で行われ、参加者22名が3班に分かれて森林を散策しました。

当日は、天気は良かったものの少し肌寒く感じられる気候でしたが、ハウチワカエデの紅葉や林野庁の森の巨人100選に選ばれている『三本桂』などの黄色く染まったカツラの葉と甘い香り、虹の滝や糸引き滝など見どころいっぱい、秋の森林を満喫しました。

なお、常呂川FCからは3名が参加し、写真撮影、ガイドサポートなどを行いました。



フィールド見学・意見交換会

はじめは**気づき**

10月14日、オホーツク管内の森林管理署職員12名を対象にフィールド見学・意見交換会を行いました。

午前中は、北見市内の野付牛公園をフィールドとして「小学校などから森林教室・自然観察を頼まれたら…」というテーマで、「カモフラージュ」「フィールドビンゴ」のネイチャーゲームを交えて、公園にある樹木を見ながら、枝・葉の付き方、幹の模様などの違いの『気づき』が観察のスタートであり、樹種名などは後からついてくるものであることなどを学びました。

午後からは、クラフト作成として「落ち葉のステンドグラス」を作りました。

参加者からは、木の葉の色・形・表裏の

違いへの気づき、完成品を想像するのが楽しいなどの声がありました。



また、「五感を使った森林散策など、知識の伝達・押し売りにならないようにすることの大切さを知った」「機会があれば森林教室をやってみたい」などの感想がありました。

北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/